

あなたの家族や友人が、ジンジバル（歯肉の）・プレークコントロールをこのままずっとしないでいたら、どうなってしまうか想像したことはありますか？

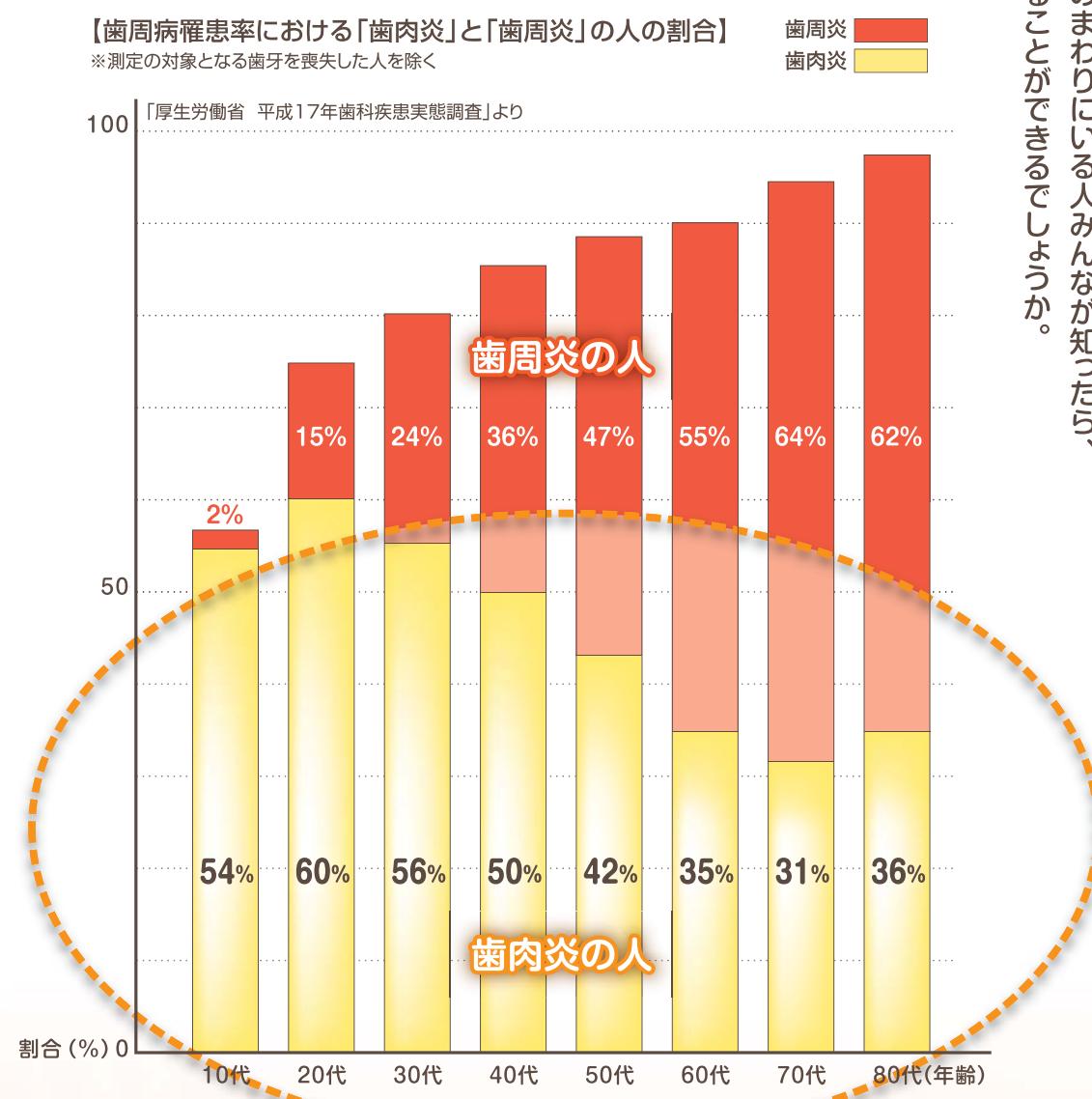
“歯肉炎”の段階で

ジンジバル・プレークコントロールを行なえば、誰でもカンタンに健康な歯肉を取り戻すことができるんです!!

歯周病は必ず、「歯肉炎」の症状を経て「歯周炎」にいたります。そして日本人のほとんどが、

歯肉炎の状態でケアをすれば、健康な歯肉に戻せることを残念ながら知りません。

もしこれをあなたのまわりにいる人みんなが知つたら、どんな未来をつくることができるでしょうか。



40代以下は、ほとんどが歯肉炎の状態!

この若・中年層の人たちを取り返しのつかない歯周炎(赤色部分)へ進行させないために、フロスによる歯肉縁上・縁下1~2mmのケアの必要性を伝えることがポイントです。

まだまだ間に合う人たちがこんなにいます!
早く伝えたい、知らせたいと思いませんか?

歯周病罹患率80%を歯科衛生士の私たちが変えていく!
Good bye ^{グッバイ} Perio ^{ペリオ} プロジェクト

特集



けして人ごとなんかじゃない！

身近で実際に起きている問題です

昨年実家へ帰省し、親戚一同が集まつたときのこと。65歳になる叔父さんの前歯がなくなつてじゅうじに、々々にあつた兄弟や子供たちがはやしました。

「どうしたやつたの？ じつから？」

「なんかすげえ、やせちやつたんじやなー？」

その質問に、叔父さんは苦笑いしながらじつ答えました。

「いやあ、フランズパンをかじつていたらボロボロぬけちゃつたんだよ。ご飯も食べられなくて……。来週歯医者に行くよ」

「歳だから仕方ないわよね。じろじろボロも出でくるでしょ」と叔母さん。

みんなは笑い話にしていましたが、私は正直笑えませんでした。

この叔父さんにだつて、ジンジバル・ブラークコントロールさえしていれば健康な状態に戻すことができる歯肉炎の過程があつたはずです。65歳の人生のなかで手遅れになる前に、歯肉をケアする必要性を伝えてくれる歯科衛生士に出会えていたなら……。その思うとやりきれない気持ちで歯を失えば咀嚼機能が低下し、脳への刺激は40%程度に減少。それにより、視力や聴力が低下することがわかつてします。

さりに最近では、ガン・糖尿病・心筋梗塞・骨粗じょう症・認知症などにかかった人のDNAから歯周病菌が見つかったというデータが発表されています。歯周病によって、さまざまな病気にかかるリスクが高まるのは明らかです。

これは、けして珍しい話ではありません。わたしたちの身边に起つてじるひとなのですが、このような高齢者がこれからますます増えてじる日本は、どうなつてしまつと思しますか？

なぜ日本では、成人の80%以上が歯周病なのでしょうか？

1980年代後半にさかんに唱えられた8020運動。これまで日本では、ただ単に歯磨きをすることが大切だけが伝えられてきました。日本人の多くは、磨きやすいじろだけを毎日一生懸命磨いています。

1日3回、歯磨きをするのが当たり前の国、日本。たしかに、8020運動を行なつたことで、高齢者の残存歯数は20年前に比べて増えました。厚生労働省歯科疾患実態調査によると、65～69歳の男性で1987年に11・3本だったのが、2005年には

19・0本。プラス7本増えています。
でも、ただ歯が残ることで国民が幸せになつたかどうかを問われたら、答えは、NO。

「日本では成人の80%が歯周病である、現実を抱えているからです。」

その理由は磨き残しにあります。財団法人8020推進財団の資料によれば、歯頸部や歯間部をしつかり掃除できていた人は、

男性で約10%、女性でもわずか20%台だつたのです。

皮肉なことに、歯が残れば残るほど日本では歯周病にかかる人が増加していきます。リスク部位である歯頸部や歯間部をケアすることの大切さを知らずに歯磨きだけをひたすら一生懸命行なつたとしても、一向にこの現実は変えられません。

予防の父・アクセルソン博士による、成人に対する30年間に渡る長期臨床研究で最もリスクが高く歯肉炎が発症しやすい部位は上顎大臼歯近心に集中、次に上顎小白歯、下顎大臼歯、下顎切歯の近心であることが証明されています。(『本物のPMTC』P.46・47参照)

アクセルソン博士の研究からもすでに答えは明らかなのです。

この現状を変えていくには、歯肉縁上、縁下1～2mmのケアを行なうしかありません。そして、それを行なう具体的な予防法は、歯肉炎の段階で、歯ブラシでは行き届くこ

とのない隣接面(歯肉線上・縁下1～2mm)をフロスを使ってケアをすること。そうすれば、誰もがカンタンに健康な歯肉を取り戻すことができます。

まさに、いまこそ日本の歯科衛生士が社会に貢献できる絶好のチャンスです！

の歯科医院に通うある患者さんは次のようにお話してくれました。

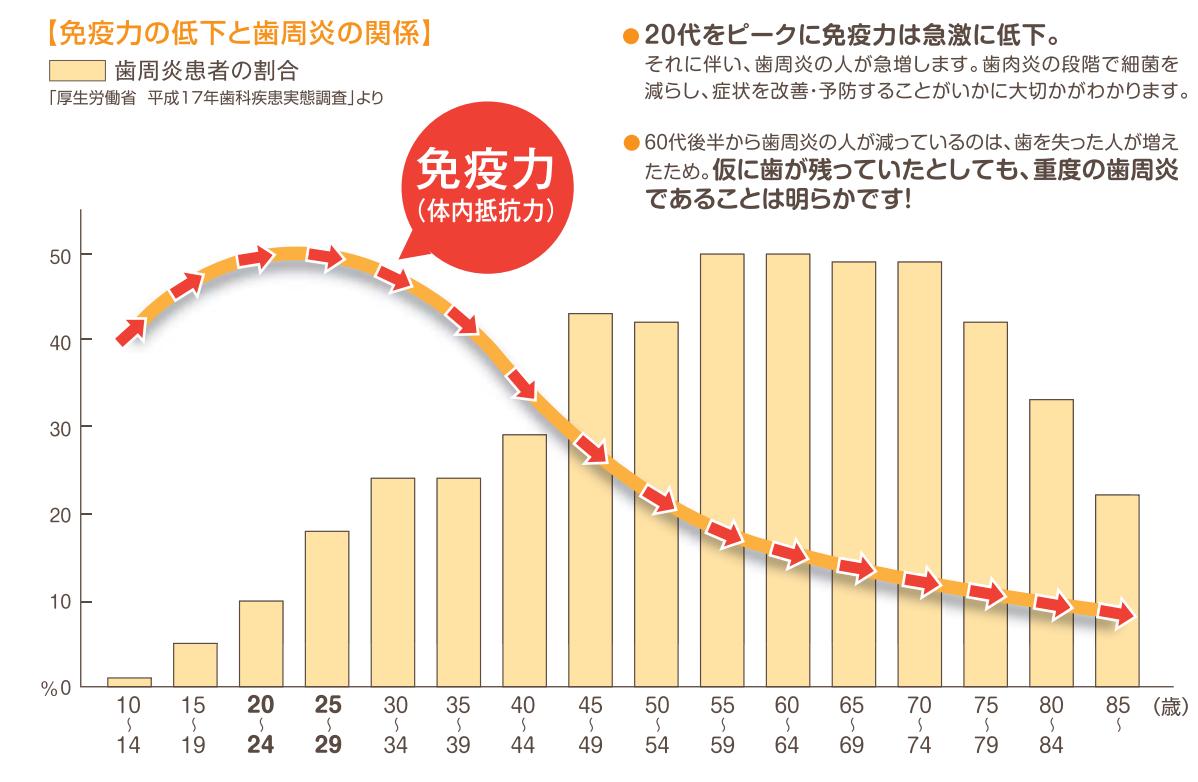
「以前通つていた歯医者さんでは、「歯肉がちょっとだけ腫れでいるので様子をみましょ」といわれました。だから、あまり気にかけず歯磨きだけ一生懸命してじばらくほつたらかしにしていました。でもその後、腫れて歯ぐきが痛くなり歯科医院さんに通うことになりました。そこではじめて、健康な状態もしくは、軽い歯肉炎のときから歯ぐきの掃除をする大切さを教わりました。そして、自分でできる唯一の道具がフロスであることも。改善するための方法があるなら、なぜ前の歯医者さんで教えてくれなかつたんだろう、もっと早く知りたかったです」(30代・女性・Eさん)

日本人の多くは過去に何度も歯科医院に足を運んだ経験を持つています。それなのに、歯肉炎の段階なら健康な状態を取り戻せる、と知つてゐる人はほとんどいません。そのためにはフロスが有効だということを、歯科衛生士が、いまこそ伝えるべき情報だと思いますか？



特集

- 20代をピークに免疫力は急激に低下。
それに伴い、歯周炎の人が急増します。歯肉炎の段階で細菌を減らし、症状を改善・予防することがいかに大切なかがわかります。
- 60代後半から歯周炎の人が減っているのは、歯を失った人が増えたため。仮に歯が残っていたとしても、重度の歯周炎であることは明らかです！



解決法はすでに明らか!

歯科衛生士が発信すれば社会は確実に変わります



特集

PPKとうつ言葉をご存知ですか? ピンピンコロリ。最期まで自分でおじしく食べて、寝て起きて、好きなことをして。まわりの家族に迷惑をかけずに生涯を全うすることを意味します。

自分自身も、自分の両親もそうであつてほしいと思いませんか? これこそが、いま日本社会に求められていることだす。

寝たきりの高齢者が入院する病院で働く歯科衛生士・Kさんはこういいます。

「歯周病の患者さんからは、歯肉からの自然出血・排膿により『くさや』*を焼いたときのようなにおいがいつも漂っている状況です。家族ごとで、すっかり心を開かしてしまいます。そんな最期つて悲しいですよね。やっぱり、生涯自分の健康な歯で食べられることがかけがえのないことなんですね」

日本人の成人の80%が歯周病に罹患している国、日本。ほかのどの国も体験したことのない超高齢社会を迎えた日本。

私たち国民が負担している医療費は、年間総額約35・3兆円。(2009年度)自己負担する医療費も、税金もこのまま増えていく一方です。介護疲れによる自殺者数も年々増加しています。

このような社会を変えていくには、歯科

衛生士一人ひとりの力が必要です。

一見大きな社会問題のように思いますが、私たち歯科衛生士が『ジンジバル・ブレークコントロール』(歯周病予防を目的とした歯肉のケア)を目の前の患者さん、家族や友人に普及していくことで、確実に社会を変えていきます。

そこで『タフトくらぶ』では2012年、『Good bye Perio プロジェクト』を始

動! ゼひ一緒に、日本人の歯周病罹患率を減らし、爽やかな息の健やかな人を増やしていきませんか?

歯肉炎なら健康な状態を取り戻せるのです!

自分のまわりにいる大切な人たちが、いつも笑顔で自分らしく毎日を過ごせるようになります。それが、日本の未来を変えていくことにつながります。

いま、歯科衛生士が立ち上がり社会に貢献するときが来たのです。

なぜ自分は歯科衛生士を継続しているのか?
歯科衛生士として
どう社会とうつながっていくのか?

一人の歯科衛生士が動き出すことから、すべては始まります。

タフトくらぶ編集部

家族、親戚、友達、患者さん……。
身近な人の健康をサポートできるのは、
歯科衛生士のあなたです!

『Good bye Perio プロジェクト』 メンバー募集

【使命】✿「歯周病は予防できる」という情報や予防方法を周りの人々に伝える
✿歯周病予防を通じて、全身疾患とそれに伴うすべての合併症を予防する
✿日本社会が目指す“医療費削減”に貢献する

【目標】✿まず今年は10万人に普及させる
✿現在の歯周病罹患率80%を減少させる

【行動指針】✿“予防のプロ”として、身近なすべての人々にジンジバル・ブレークコントロールの提案をする
✿フロスが習慣になるまで、必要な情報を伝え続ける
✿同じ目標に向かうメンバー同士、情報交換をしながら活動する

参加メンバーには
提案用のフロス(ミニサイズ)を、必要な分だけ無償提供!
一般の人々にフロスの必要性がバッと伝わる、写真や動画などのツールを無償提供!
メンバー同士が自由に意見交換できる場を提供!

あなたが一人でもいますぐ行動をスタートできるよう、タフトくらぶは全面的にサポートします。

参加したい方、活動内容を詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。
<http://perio.tuftclub.jp/>
(参加のお申し込みは、サイトからのみとなります)

すでに行動を開始している歯科衛生士さん4人の座談会は8、9ページへ!